平成２９年度

研究の全体構想図

大分大学教育学部附属幼稚園

平成 30 年度
改訂幼稚園教育要領
実施

【教育目標】
豊かに生きる子どもの育成
ゆたかに生きる
かがやいて生きる
たくましく生きる

【めざす子ども像】
心豊かなやさしい子ども
工夫して楽しく遊ぶ子ども
元気いっぱい活動する子ども

【年齢ごとの発達の捉え】
３歳児　『自分で』
４歳児　『自分から』
５歳児　『自分たちで』

【地域貢献としての研究】
○研究経過や成果等の情報発信と交流
○実習や研修の場における研究成果の還元

【平成 28 年度研究】
遊びを通した子どもの学び
～主体的に遊ぶ子どもの姿から資質・能力（3 つの柱）につながっている学びを探る～

○幼児期の学びは総合的に育まれ、小学校以降の学びへとつながっていくことの再認識ができた。

【四校園協働研究】
◎大分県における「グローバル人材」の資質・能力の育成
○挑戦意欲と責任感・使命感を育む
○多様性を受け入れ協働（協同）する力を育てる

【平成２９年度研究テーマ】
遊びを通した子どもの学び
～『見たい！もっと知りたい！もっとやりたい！』を支える環境の構成と援助～

【研　究　課　題】
『見たい！もっと知りたい！もっとやりたい！』姿のきっかけや深まりは、「環境の構成と援助」のどこに要因があったのだろうか。

【理　論　研　究】
・「改訂幼稚園教育要領」
・他附属研究紀要
・本園過去研究紀要
・学部教員の研究協力
・幼児教育専門家の文献

【実　践　研　究】
・子どもの主体的な姿や変容を捉えたドキュメンテーション評価
・研究保育（事前研・事後研）
・カリキュラムマネジメントを意識した週日案・保育記録の集積

【研　究　の　方　向】
○年齢期ごと、主体的な姿の原動力となった「きっかけや深まり」を支える「環境の構成」と「教師の援助」を明らかにし，教育課程の見直しを行う。
○本研究を通して、主体的に遊ぶ子どもの姿にある「期待される子どもの学び（＝10 の姿）」を、教育課程の「期待する子どもの学び」に位置づける。